# 沖縄を物語る

## 立川志ぃさ一先生「自分を物語る」

▼「物語る」ということの重要性やプロ意識ということを感じる講義でした。どんなに深刻な話もユーモラスに伝えることによって、相手に何かを気付かせることができる。今後のために、そのようなテクニックを、少しずつでも身に付けたいと思いました。（洋一）

▼本土で活躍している人の話がたくさん出ていましたが、とても興味ぶかい話でした。楽しい話ありがとうございました。まだ２時間ぐらいは延長しても聞きたかったですネ。（勝子）

▼話をすること・・・言葉にする事、とても大切なプロセスだと改めて感じました。（豪夫）

▼教訓をたくさんもらえた講義でした。今年一番のウチナーンチュとしての教訓は「（沖縄人として）精神的に優位に立つ」ということです。マイノリティでも逆手に捉えてポジティブに生きていこうと思います。（亜季子）

▼沖縄は県外にも海外にも様々な地域に足跡を残しているのだと改めて感じることができました。もっと沖縄の事、自分の事について語っていきたいと思います。（真弥）

▼修学旅行の事前学習の話から民泊、戦争、基地問題、豚肉、原発、ヤマネコ、アマミキヨ、その他内容盛り沢山で本当に話が尽きず、さすが噺家だなと思った。

不良と呼ばれる子がなぜ方言を使うかという話が印象に残った。（大祐）

▼「自分を語る」という言葉がとても印象に残りました。たくさんの話を聞かせて頂きもっと沖縄の話を聞きたいな～と思いました。（好美）

▼「おもしろい話」を学ぶ事ができました。私も「おもしろく」なれるようがんばります。「善の発想」ですね。（丈也）

▼すごく話に引き込まれて、さすがだなーと思いました。「自分を語れない人は何も語れない」その言葉がとても自分の中に残りました。とても貴重な時間でした。（希望）

▼とっても楽しい講義でしたが、色々沖縄について考えさせられる事もありました。（倫美）

▼さすが噺家、言葉を選んで真摯に話している姿が印象的でした。（寛）

▼難しい話でも話し方で楽しく聞くことが出来る事がよくわかりました。（樹）

▼沖縄のユーモアあふれる小噺からシリアスな内容、落語の語らない間、色々考えてしまう人を引き付ける魅力を感じました。（道憲）

▼直にお会いしたいと思っていた藤木（立川）さんのお話を聞けて感激です。自分の事をそして親の事をたくさん話し合いたいと思いました。（多恵美）

▼色んなお話が聞けて楽しかったです。聞きいってしまいました。ラジオも聞いてみたいです。あ

マス塾新報

島マス記念塾
事務局担当者
無責任編集
TEL937-3385
MASU@OKICITY
SHAKYO.COM
島マス記念塾

と、神奈川で沖縄の芸能が文化財になっていることが嬉しいです。（舞子）

▼たくさんの沖縄話や頑張っている沖縄の人の話を聞いて、語れる人生にしたいなと思いました。そして言葉ってすごいって感じました。（祥子）

▼おもしろかった！噺家さんだけあってお話もとても上手だった。とても勉強になった。（清史）

▼今日は素晴らしい講演が聞けて良かったです。卒塾生席をもうけて下さり、皆さまありがとうございました。立川志ぃさーさんの今後の活躍を応援します。21期生のディベートも応援しますね。（20期生　名幸）

▼たんたんと話す、語り口の中に強い芯を感じとても楽しめました。ありがとうございました。（20期生　仲宗根）

▼立川先生のお話のあの間。いろんな事が集約されているように思います。普通の人がだせる間じゃないように感じました。そういった人のお話を身近に聞けて幸せです。ありがとうございました（20期生　平良）

▼今日は参加を受け入れてくださって、ありがとうございました。インタビューの原発の話はオンタイムでとても為になりました。時代の波に乗ることの重要さと沖縄のヒストリーを学びました（14期生　菅）

▼本土の方達から見た沖縄。沖縄の歴史をたくさん聞く事ができました。やはり話に引き込まれる程、お話がすばらしくとても楽しい時間を過ごせました。（体験生　中村）

▼自分を語れないと何も語れない。という言葉が印象的でした。自分にプライドをもち自信をもって頑張っていきたいです。ありがとうございました。（体験生　吉本）

▼年代的にも今の子供達に沖縄の戦争の事を伝えるのは難しいと聞きました。今回のお話で、沖縄戦の話はやっぱり伝えていかないといけない歴史だと改めて感じました。ありがとうございます。（体験生　伊良部）

いつも楽しい休憩時間！と講義終了後の盛り上がった懇親会！ヾ(＊・ω・)ノ゛+.゜★